# ヨーロッパの地で挑戦し続ける

# プロサッカー選手 寺内大登さん 2018 年度経済経営学部卒業

### 現在の仕事

在学中からドイツに渡り、ドイツ5部リーグのチームに所属し、今 季からルクセンブルクの 1 部リーグ Victoria Rosport というチームで プレーをすることになりました。練習は基本的に夜からの開始となるの で練習までは基本的にやることはフリーです。勉強しようが練習しよう がのんびりしようが、己の身に任すという感じです。私はまだ今のチー ムに慣れていないので、選手とコーチ陣とのコミュニケーションが非常 に大事な時期であると感じています。その中でなるべく話しかけ、自分 だけでなく相手のことを探りながら話しています。

サッカー自体もまだ完全にスタメンが決まっているわけではなく、監 督がメンバーを調整しながら公式戦に向けてチェックしている状況なの で具体的にはわかりませんが、スタメンになれるように奮闘しています。

#### 海外生活の魅力や困難なこと

日本にも魅力的なことはたくさんありますが、海外で魅力的な点は日 本人にはあまりない自己主張です。自分がどういう人間で自分の言いた いことをなるべく言うこと。それはサッカーをやっている人だけにかか わらず、街中やスーパーなどたくさんの場所で日常的にその様な光景が よく見られます。私自身も日本では今まで自己主張はあまりしてこなか ったため、こんな自分を変えたいとも思っていました。まだ完璧には変 わっていませんが、日本を離れてからの私は自分でも気づくほどに変わ ったと思います。

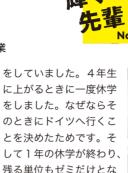


- ムのサポーターやスポンサー とのパーティにおいて

また、困難といえば誰もが壁に当たるで あろう言葉の壁です。私自身も会話ができ ない時期、理解できないときはよくあり、 今でもあります。冷たい人だと呆れられ話 すのをやめる人もいますし、諦めずゆっく り話してくれる人もいます。そういう経験 をしてきた今、少しずつ会話が成り立つよ うになってきて言葉の面でも成長を実感し ています。言葉だけでなく、異文化という 環境に慣れることも大事です。

#### 駿河台大学在学中のこと

私は在学中の3年生まで経済経営学部で学びながらサッカー部に所属 していました。2年生までスポーツ寮におり、3年生からは一人暮らし



サッカー部部長として面



前列一番右が寺内さん

倒を見てもらっていた南林先生のゼミに所属していたため、もう一度ド イツへ行くことを話した結果、先生は理解をしてくださり、ご指導のも と無事に卒業論文を提出し、卒業に至ることができました。

#### これからのこと、後輩へのメッセージ

この先自分自身もどうなるかわかりません。しかし、目指す場所、自 分がこうなりたいという目標はあります。それまで私は挑戦し続けます。 後輩のみなさんにももっとたくさんのことに挑戦し、目標や夢を見つけ 達成して欲しいと思っています。

「夢がない」「やりたいことがない」と言っているだけでは何も見つか りません。もっと自分から積極的に行動すればやりたいことが見えてく るはずなので恐れず進んでください。

最後に、大学の関係者、家族、友人全ての人たちに感謝しています。 みなさんのおかげで今の私があり、ここまでこられていることは間違い ないです。まだまだ私は動き続け、これからももっとステップアップし ていくことが皆さんへの恩返しにつながると思っているので応援をよる しくお願いします。

## Profile

埼玉県立浦和東高校出身。8歳よりサッカーを始める。 大学 1 年次には埼玉県大学サッカー 2 部リーグ新人王に選ばれる。 2017年 ドイツ 5 部リーグ Victoria Arnoldsweiler 所属 2018年 同リーグ Blau weiß Friesdorf 所属 2019 年 ルクセンブルク 1 部リーグ Victoria Rosport に所属し MF として 活躍中。